

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	208	保健対策推進事業						
	この事務事業の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち						
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう						
			基本事業		健康づくり						
	主管課名		健康推進課		課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期		昭和56年度から		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市附属機関の設置に関する条例								
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由								
	市民の疾病予防、健康の保持増進、健康づくりに関する事項について審議する。委員の任期は2年である。		10名の委員から構成されており、市民の健康の確保、医療費適正化のために必要である。 ○委員構成 学識経験のある者 保健医療関係団体の代表者 地区衛生組織の代表者 地域団体及び事務所の代表者 関係行政機関の職員								
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		「健康みよし21（第2次計画）」中間評価について、専門的立場の委員に意見を頂き、評価を実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか		(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）									
変 化 内 容	変化していない				名称		単位				
			①		協議会の開催回数		回				
			②		協議会の参加人数		人				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）		(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）									
保健対策推進協議会委員				名称		単位					
		①		保健対策推進協議会委員数		人					
		②									
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）		(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）									
学識経験のある者・保健医療関係団体の代表者・地域衛生組織の代表者・地域団体及び事業所代表者の意見の集約				名称		単位					
		①		協議会開催数		件					
		②									
結果（上位基本事業の意図）		(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）									
健康に暮らしてもらう				名称		単位					
		①		担当課が参考とした意見の件数		件					
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			2	2	2	2	2			
	② 人			10	10	10	10	10			
(2)の 対象指標	① 人			10	10	10	10	10			
	②										
(3)の 成果指標	① 件			2	2	2	2	2			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 件			20	8	8	8	8			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	2,047	126	126	126	126			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	2,047	126	126	126	126		
人件費B	千円	0	0	741.2	957.6	957.6	957.6	957.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	220×1	285×1	285×1	285×1	285×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	2	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	102	102	102	102	102			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	2,890.2	1,185.6	1,185.6	1,185.6	1,185.6			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	289	118.6	118.6	118.6	118.6			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	208	保健対策推進事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市民の健康の確保、医療費適正化のために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	現状を維持する
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民の健康の確保に努める
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	学識経験のある者や保健医療関係団体、地区衛生組織、地域団体及び事業所の代表者は、健康意識が高いため現状を維持する。	
	目的達成状況	内容	目的は達成されている	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者がいない

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	母子支援事業の開始に伴い、産科医及び小児科医との連携が必要である	対応策	医師会等関係機関との連携を図る
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	「健康みよし21（第2次計画）」中間評価について、専門的立場の委員に意見を頂き、評価を実施した。	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 保健事業全般に関する企画等について審議を頂き、意見等を事業に反映させる。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	209	予防接種健康被害調査会事業							
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
		基本事業	健康づくり								
	主管課名	健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期	昭和51年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	予防接種法									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	予防接種健康被害調査会は、市長の諮問に応じて、市が実施する定期の予防接種に起因すると思われる健康被害の発生事例に関する医学的見地からの調査及び審議を行う。委員の任期は2年である。				4名の委員で構成されており、健康被害が発生した場合に調査会を開催する。専門家による適正かつ円滑な解決を図るために必要である。 ○委員構成 豊田加茂医師会会員 学識経験を有する者 関係行政機関の職員 市の職員						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			予防接種が起因と思われる健康被害が発生しなかったため委員会の設置はなかった。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化していない			名称		単位					
				① 委員数			人				
				② 委員会開催回数			回				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 予防接種者により健康被害が発生した人				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
			名称		単位						
			① 健康被害者			人					
			②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 予防接種により発生した健康被害の実態を把握し、審査結果を出す				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
			名称		単位						
			① 審査結果の報告件数			件					
			②								
結果(上位基本事業の意図) 安心して医療を受けてもらう				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
			名称		単位						
			① 健康被害の件数			件					
			②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人			4	4	4	4	4			
	② 回			0	0	0	0	0			
(2)の 対象指標	① 人			0	0	0	0	0			
	②										
(3)の 成果指標	① 件			0	0	0	0	0			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 件			0	0	0	0	0			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	0	28	28	28	28			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0	28	28	28	28	
人件費 B	千円	0	0	84	184.8	184.8	184.8	184.8			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	25×1	55×1	55×1	55×1	55×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	84	212.8	212.8	212.8	212.8			
単位あたりコスト ①	千円/人	0	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/②)の対象指標	千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	209	予防接種健康被害調査会事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	法に基づく事務をすることで、予防接種による被害の適正な対応を可能にする
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	予防接種に起因すると思われる健康被害が生じた場合のみ委員会を設置することとしている	
	目的達成状況	内容	予防接種が起因と思われる健康被害が発生しなかったため委員会の設置はなかった	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	ない	対応策	ない
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	健康被害が発生した場合に調査会を開催する	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 健康被害が発生した場合に調査会を開催する			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	212	健康診査事業						
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業	健康づくり							
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝				
	この事務事業の開始時期		昭和37年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		健康増進法第19条の2								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	健康増進法に基づき健康診査事業を行い、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげ、健康づくりの推進を図る。この事業には特定健診等追加項目(24年度まで)、肝炎ウイルス検診、節目歯科健診、70歳歯科健診、成人歯科健診、胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮頸がん・乳がんの各がん検診と骨密度検診、39歳以下の健診、健康診査（生活保護受給者等）が含まれる。					乳がん・子宮頸がん検診については、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業により、各対象者に無料クーポン券を配布し受診率向上を図っている。					
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			保健センターで子宮、乳、39歳以下の健診を業者に委託し集団方式で実施。市内医療機関で個別医療機関方式で検査から結果指導まで委託し実施。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	がんの罹患率は増加しているが、生存率は増加傾向にある				名称		単位				
					① 健診（検診）実施医療機関数	箇所	② 健診（検診）実施期間	月			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
胃がん検診対象者 大腸がん検診対象者					名称		単位				
					① 胃がん検診対象者数	人	② 大腸がん検診対象者数	人			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
健診事業を活用し、疾病の早期発見・治療につなげる					名称		単位				
					① 胃がん検診受診率	%	② 大腸がん検診受診率	%			
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
健康に暮らしてもらう					名称		単位				
					① 健康診査受診件数	件	②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 箇所			20	20	20	20	20			
	② 月			10	10	10	10	10			
(2)の 対象指標	① 人			13,659	13,700	13,720	13,740	13,760			
	② 人			13,659	13,700	13,720	13,740	13,760			
(3)の 成果指標	① %			10.1	10.2	10.3	10.4	10.5			
	② %			22.7	22.8	22.9	23	23.1			
(4)の結果の 成果指標	① 件			14,759	14,800	14,820	14,840	14,860			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	98,173	111,643	111,435	111,435	111,435			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	155	154	154	154			
	県支出金	千円	0	0	2,524	2,577	2,577	2,577			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	869	916	916	916			
	一般財源	千円	0	0	94,625	107,996	107,788	107,788			
人件費 B	千円	0	0	12,076	12,512	12,512	12,512	12,512			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	3,475×1	3,575×1	3,575×1	3,575×1	3,575×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	400	500	500	500	500			
その他の費用 C	千円	0	0	916	916	916	916	916			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	111,165	125,071	124,863	124,863	124,863			
単位あたりコスト ①	千円/人	0	0	8.1	9.1	9.1	9.1	9.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②	千円/人	0	0	8.1	9.1	9.1	9.1	9.1			

事務事業名	No.	212	健康診査事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	健康増進法に基づき、健康診査を実施することで、疾病の早期発見や予防ができる
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	受診件数の増加に伴ない市民の健康意識が図られ、疾病の早期治療につながる	
	目的達成状況	内容	計画どおり実施できた	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	平成25年度に自己負担金の見直しを行い、一部変更している。社会情勢に合わせ、定期的な見直しが必要。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	健康に対する意識が近年高まっている	対応策	脳ドックについては応募状況により定員の見直しを実施する
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	生活習慣病の早期発見・早期治療につなげ、健康づくりの推進を図る	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 生活環境の改善と医学の進歩により平均寿命は急速に延伸し、長寿社会となってきた。急速な高齢化に伴い、生活習慣病や、これに起因した認知症・寝たきり等で要介護状態になる者の増加も深刻な社会問題になっている。そのため、健診による早期発見又は治療にとどまることなく健康増進を推進し、発病を予防する「一次予防」に重点を置いた対策の推進を進める。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	213	感染症対策事業							
	この事務事業の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業		健康づくり							
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期		不明			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生の予防、まん延を防止するための正しい知識の普及啓発を推進する。					感染症の発生の予防及びまん延を防止するために、正しい知識を普及することや感染症予防のための対策と環境衛生対策をすることは市民の健康の確保を図る観点からも必要である。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			感染症予防のための知識の普及啓発及び害虫（感染症を媒介する昆虫等）の駆除対策								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	新型インフルエンザ等新規のリスクが増大している				名称		単位					
					① 感染症予防のための啓発回数		回					
					② 蚊・ねずみ等の駆除薬品の受け渡し期間		月					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					① 人口		人					
					②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
対象期間内に感染予防の駆除薬品を受け渡すことができる					名称		単位					
					① 蚊・ねずみ等の駆除薬品の受け渡し件数		件					
					②							
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
健康に暮らしてもらう					名称		単位					
					① 健康診査受診件数		件					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回			1	1	1	1	1			
		② 月			12	12	12	12	12			
(2)の 対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
		②										
(3)の 成果指標		① 件			9	10	10	10	10			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 件			14,759	14,800	14,820	14,840	14,860			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	115	1,025	2,651	1,001	1,001			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	0	0	115	1,025	2,651	1,001	1,001		
人件費B		千円	0	0	2,029.4	3,575	3,575	3,575	3,575			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	604×1	1,064×1	1,064×1	1,064×1	1,064×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	204	204	204	204	204			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	2,348.4	4,804	6,430	4,780	4,780			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	213		感染症対策事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない		理由	法に基づき、感染症を予防することで市民の健康レベルを保ち、安心して生活ができる。		
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由		基本的に全市民を対象とするが、高齢者や妊婦、基礎疾患のある方は特に注意して対策する必要がある。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由		感染症の発生の予防及びまん延を防止するためという目的に変化はないため。		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		国や県の感染症対策に準じて随時対応する			
	目的達成状況	内容		計画どおり実施できた			
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業			
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		類似する事業がないため、統合は適さない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		感染対策に要する費用について、精査しながら事務を進める。			
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	感染症を予防する観点から適正			
3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	新型インフルエンザ等発生時における連携及び体制の構築		対応策	豊田加茂医師会、西三河北部医療圏の病院及び構成市（豊田市、みよし市）が連携した新型インフルエンザ等発生時における体制構築について協議を行っている。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	感染症予防のための知識の普及、害虫（感染症を媒介する昆虫等）の駆除対策		変 更 追 加	新型コロナウイルス感染症への対応	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 緊急時対応をより迅速にかつ確実にするため、医師会、病院及び構成市等の関係機関が連携した体制を構築する。 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた、対応品確保を行っていく。				
コストの方向性			↑ 増加				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	214	健康相談事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	健康づくり								
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期		昭和58年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		健康増進法第17条第1項									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	心身の健康に関する相談に個別に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的として行っている。近年は生活習慣病予防相談に重点を置いている。					市内在住の40歳以上で健康に関する相談のある者（但し、健康相談の内容や対象者の状況によっては、その家族が対象となる）に対し、心身の健康に関する一般的な相談について、総合的な指導・助言を行っている。 平成29年度より、健康度評価事業が開始された。この事業は生活習慣の問診と健診結果、体力測定の結果に基づき、個人にあった生活習慣アドバイスを実施している。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			保健センター、三好総合体育館および地区で健康相談を開催。検診、相談等保健事業利用者および希望者に健康手帳交付を随時交付。認知症や生活習慣病等に関する知識の普及、各種サービスの紹介、栄養・運動・口腔衛生・在宅介護等に関して居宅での訪問指導を実施。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	市民の健康への関心が高まっている				名称		単位					
					① 健康相談開催回数		回					
		②										
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
健康相談（健診）を利用する40歳から64歳の人					名称		単位					
		① 健康相談を利用する40歳から64歳の人		人数	人							
		②										
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
自分の健康状態を意識し、気軽に相談することができる					名称		単位					
		① 1回の健康相談平均利用人数		人	人							
		② 健康度評価事業利用人数		人	人							
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
健康に暮らしてもらう					名称		単位					
		① 健康づくり事業の延参加者数		人	人							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回			226	230	235	240	245			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			2,770	2,850	2,830	2,800	2,770			
		②										
(3)の 成果指標		① 人			4	4	4	4	4			
		② 人			73	100	150	180	210			
(4)の結果の 成果指標		① 人			2,546	2,000	2,600	3,000	3,400			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	2,705	3,108	2,228	2,228	2,228			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	171	182	182	182	182			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	10	35	35	35	35			
	一般財源	千円	0	0	2,524	2,891	2,011	2,011	2,011			
人件費B		千円	0	0	5,370.4	6,276.4	6,276.4	6,276.4	6,276.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	1,390×1	1,615×1	1,615×1	1,615×1	1,615×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	700	850	850	850	850			
その他の費用C		千円	0	0	102	102	102	102	102			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	8,177.4	9,486.4	8,606.4	8,606.4	8,606.4			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	3	3.3	3	3.1	3.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	214	健康相談事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	法に基づく事業を実施することで、市民が行う健康管理を支援できる
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	他の事業と連動するように相談機会を提供する	
	目的達成状況	内容	計画どおり実施できた	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	近隣市町と同水準

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	利用しやすい開催場所、時間の要望がある	対応策	開催日時、場所を検討する
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市民が行う健康管理を支援する	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 自分の健康度や体力を知ることで、健康状態に合わせた運動実践の習慣を身に付けて健康寿命の延伸に繋げる。 R3年度から「健康の道等整備事業」と統合			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	215	健康教育事業							
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	健康づくり								
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期		昭和58年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		健康増進法第17条第1項									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	心身の健康についての正しい知識の普及を図り、適切な指導や支援を行うことにより、健康への認識・自覚を高め、健康の保持増進を図ることに努め、病気にかからないことを目的に実施する。					近年、生活習慣病に起因する疾病が増加する中、市民の認識・自覚を高め、健康向上するため事業の実施は必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育事業 ・ヘルスパートナー地区活動事業 ・健康づくり大使「キューちゃん」事業 ・こころの健康づくり事業 ・健康マイレージ事業 ・健康評価事業 						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			自殺予防をふまえたこころの健康づくり講演会・教室、60歳からの栄養・健康教室、地区やグループからの要請による健康教育など集団健康教育を実施。ヘルスパートナー（健康づくりボランティア）の地区活動支援。健康づくりの取り組みをポイント化し、健康マイレージを推進。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	特定健診・特定保健指導が開始され、より予防に重点が置かれるようになった				名称		単位					
					① 集団健康教育開催回数	回	② 健康マイレージチャレンジシート配布枚数	枚				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内在住の健康教育（健診）を利用する40歳から64歳の人健康づくり活動に関心のある市民					名称		単位					
					① 健康教育を受ける機会のない	人						
					② ヘルスパートナー養成教室修了者数	人						
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
健康教育事業に参加し、自分の健康について考える機会が増える市民の健康意識を高めるような健康づくり活動を実施する					名称		単位					
					① 健康教育参加人数	人						
					② マイレージポイント達成者数	人						
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
健康に暮らしてもらう					名称		単位					
					① 健康づくり事業の延参加者数	人						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
(1)の活動指標		① 回			69	60	65	68	71			
		② 枚			2,706	2,500	3,000	3,500	4,000			
(2)の対象指標		① 人			2,770	2,850	2,830	2,800	2,770			
		② 人			62	62	62	62	62			
(3)の成果指標		① 人			1,476	1,400	1,500	1,550	1,600			
		② 人			88	100	120	140	160			
(4)の結果の成果指標		① 人			2,546	2,000	2,600	3,000	3,400			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト		年度	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	1,761	3,751	3,623	3,845	3,623			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	518	752	602	602	602			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	25	37	24	34	24			
	一般財源	千円	0	0	1,218	2,962	2,997	3,209	2,997			
人件費B		千円	0	0	10,263.7	10,852.3	10,852.3	10,852.3	10,852.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	3,013×1	3,148×1	3,148×1	3,148×1	3,148×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	140	275	275	275	275			
その他の費用C		千円	0	0	204	204	204	204	204			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	12,228.7	14,807.3	14,679.3	14,901.3	14,679.3			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	4.4	5.2	5.2	5.3	5.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	0	0	197.2	238.8	236.8	240.3	236.8			

事務事業名		No.	215	健康教育事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない		理由	法に基づく事業を実施し、市民が健康行動を取れるようにすることで、健やかな生活を送れるようになる	
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。	
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。	
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		健診結果を加味すると共に、広く一般市民に健康に関心を持ってもらう事業を展開する		
	目的達成状況	内容		計画どおり実施できた		
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業		
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		事業内容を鑑みると、統廃合による事業の効率化又は成果の向上は難しい。		
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		事務内容を鑑みると、削減は難しい。		
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない		内容	近隣市町と同水準	
3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	個人の健康課題が多岐にわたり、集団での対応が難しくなっている		対応策	個別に対応できる体制の整備を検討する
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市民が健康行動を取れるようにすることで、健やかな生活を送れるようにする		変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市民の健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣を实践する行動変容のきっかけとなる動機付け事業（健康マイレージ事業、健康度評価事業）の仕組みを構築する。		
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	216	健康の道等整備事業							
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	健康づくり								
	主管課名		健康推進課		課長名	二子石 勝						
	この事務事業の開始時期		平成4年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		健康増進法									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	市民が気軽に健康づくりをできる場所として「みよし健康の道」を整備し、市民の健康づくりを推進する。				三好公園トリムコース(約4.3km)・前田緑道コース(約1.7km)・保田ヶ池コース(約1km)・三吉緑道コース(約2.5km)の4コースが設定されており、市民の健康づくりの場として活用されている。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			みよし市全域を「みよし健康の道」とし、三好公園トリムコース、前田緑道コース、保田ヶ池コース、三吉緑道コースをウォーキングコースに指定し、市民に周知した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	市民の健康意識が高まっている			名称		単位						
				① 修繕件数		件						
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
健康意識のある市民				名称		単位						
① 市民						人						
②												
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
健康づくりの第1歩として、手軽に始められる「ウォーキング」を安全に景観を楽しみながら利用してもらう				名称		単位						
① 健康の道の現場巡回数						回						
②												
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
健康に暮らしてもらう				名称		単位						
① 意見件数						件						
②												
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の活動指標		① 件			4	1	1	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
		②										
(3)の成果指標		① 回			4	4	4	4	4			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 件			3	1	1	1	1			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	12	90	10	50	50			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	0	0	12	90	10	50	50		
人件費 B		千円	0	0	84	117.6	117.6	117.6	117.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	25×1	35×1	35×1	35×1	35×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	96	207.6	127.6	167.6	167.6			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	216	健康の道等整備事業
-------	-----	-----	-----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市民の健康を維持するための場を提供している
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	市民の健康づくりの意識が向上することによって、利用率も向上する	
	目的達成状況	内容	多くの市民に利用されている	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市に直営で実施すべき事業	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	健康相談事業に統合し、健康づくりを推進し効率化を図り、成果を向上させる。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいないため

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	三好公園トリムコースの距離が実測値と異なるので修正してほしい	対応策	距離を計測して修正を実施する
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市民の生活に身近な場に健康を維持するための場を提供	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 三好丘地区等にもコースの設置を検討する。 R3年度から「健康相談事業」と統合			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務 事業 の 現 状	事務事業名		No.	217	歯科保健推進事業						
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
		基本事業	健康づくり								
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝				
この事務事業の開始時期		平成11年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
この事務事業の根拠法令		みよし市障がい者福祉計画（基本計画）									
P L A N 及 び D O	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	歯科保健推進事業は、指導を希望する障がい者社会福祉通所系事業所のサービス利用者に対し、歯科医師及び歯科衛生士がブラッシング指導及び歯科保健指導を実施する。 また、豊田加茂歯科医師会が実施する障がい者歯科医療推進事業（障がい者社会福祉施設における歯科健診事業）及び「歯・口の健康づくり推進事業（8020表彰、往診歯科器材整備事業）」に対し補助をする。				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 歯科保健推進事業は、通所者の口腔内状況を改善し、生活の質を向上させるために必要である。 また、「歯・口の健康づくり推進事業」における「8020表彰」は歯科保健啓発事業で、市民の歯に対する意識の向上に大きな役割を果たしており、「往診歯科器材整備事業」は、在宅寝たきり老人等の歯科医療を円滑に実施し、地域医療の充実を図るためには不可欠であるため補助は必要である。						
H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		歯科保健指導：障がい者自立支援協議会で歯科保健指導について周知し、希望のあった事業所の通所者に個別ブラッシング指導等を実施。 歯科医師会の実施する8020普及啓発事業に補助金交付。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	通所者および職員の意識は向上し、口腔内状況は改善されている。				名称		単位				
					① 実施した時間		時間				
		②									
対象（この事業の対象、範囲となる人、物） 障がい者社会福祉通所系事業所の健診等利用希望者					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
				名称		単位					
				① 歯科健診及び保健指導を受けた人数		人					
				②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか） 自分の口腔内に関心を持ってもらう					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
				名称		単位					
				① 指導を実施した歯科医師・衛生士の人数		人					
				②							
結果（上位基本事業の意図） サービス利用者が健康に暮らしてもらう					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
				名称		単位					
				① サービス利用者の人数		人					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 時間			15	25	25	25	25			
	②										
(2)の 対象指標	① 人			125	157	160	160	160			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			22	50	50	50	50			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 人			116	125	125	125	125			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
財 源 内 訳	事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	659	1,033	1,281	1,179	1,392		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
一般財源	千円	0	0	659	1,033	1,281	1,179	1,392			
人件費B	千円	0	0	783.4	813.4	813.4	813.4	813.4			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	190×1	190×1	190×1	190×1	190×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	145	175	175	175	175			
その他の費用C	千円	0	0	61	61	61	61	61			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	1,503.4	1,907.4	2,155.4	2,053.4	2,266.4			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	12	12.1	13.5	12.8	14.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	217	歯科保健推進事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	障がい者の歯科保健と歯科医療の充実に寄与している
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	障がい者の歯科保健と歯科医療の充実を図る	
	目的達成状況	内容	歯科保健指導を希望のある市内全通所系事業所に対し実施できた	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	障がい者福祉のため

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	「8020表彰」を通じ、市民の歯科保健に対する意識は向上しているが、今後表彰者の増加が予想され、事業費の増大が課題となる	対応策	豊田加茂歯科医師会及び豊田市など関係機関と今後の対応について検討が必要
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	障がい者歯科保健及び歯・口の健康づくり推進(8020表彰)	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 引き続き希望のある市内の全障がい者社会福祉通所系事業所に対し歯科保健指導を実施していく。また、豊田加茂歯科医師会事業に対する補助も継続していく。			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	218	市町村栄養改善事業							
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
		基本事業	健康づくり								
	主管課名	健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期	平成8年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	健康増進法、食育基本法									
	事業の概要	地域における生涯を通じた食育推進の担い手として、食生活健康推進員の養成及び育成を行い、地域の健康づくり活動を進める。 また、地域ボランティア組織「みよし市食生活健康推進員会」に補助金を交付し、健全な食生活を実践することができる食育活動の取り組みに対し支援を行う。			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 「国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な指針」の中で、健康増進を担う人材として、食生活健康推進員等のボランティア組織の支援等に努める必要があるとされている。また、食育推進基本計画においても「食育活動の担い手」として食生活健康推進員が明記されている。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	食生活健康推進員の養成教室を開催した。									
	事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか	会員の定着率が低く、会員数が減少している。			(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容				名称		単位					
				① 食生活健康推進員養成教室開催回数	回		② 受講者のべ人数	人			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)	健康と食生活の改善に関心のある市民			(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
				名称		単位					
				① 食生活健康推進員養成教室受講希望者	人		② 人口	人			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)	地域で食生活改善を行う食生活健康推進員になってもらい、正しい食生活に対する意識を高めてもらう			(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
				名称		単位					
				① 食生活健康推進員養成教室修了者	人		② 推進員が活動した事業の参加者数	人			
結果(上位基本事業の意図)	食の大切さを知り、食を通じた人づくり、健康づくり、環境づくりを推進する			(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
				名称		単位					
				① 食育の普及に関する事業活動数	事業		② みよし市食生活健康推進員会会員数	人			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			9	0	9	0	9			
	② 人			18	0	20	0	22			
(2)の 対象指標	① 人			3	0	5	0	7			
	② 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
(3)の 成果指標	① 人			3	0	5	0	7			
	② 人			650	680	710	740	770			
(4)の結果の 成果指標	① 事業			30	30	31	31	32			
	② 人			19	20	20	20	20			
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	377	289	606	287	606			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	7	0	60	0	60	
		一般財源	千円	0	0	370	289	546	287	546	
人件費 B	千円	0	0	3,054.8	3,091.8	3,091.8	3,091.8	3,091.8			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	869×1	880×1	880×1	880×1	880×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	135	135	135	135	135			
その他の費用 C	千円	0	0	81	81	81	81	81			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	3,512.8	3,461.8	3,778.8	3,459.8	3,778.8			
単位あたりコスト ①	千円/人	0	0	1,170.9	0	755.8	0	539.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②	千円/人	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名	No.	218	市町村栄養改善事業
-------	-----	-----	-----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	食育活動の担い手として必要とされている
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	会員の定着率が低く、会の存続が危ぶまれている。対象を見直す等事業の在り方を検討する。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	地域での食生活改善活動の支援を行うことで、より効果的な活動が期待できる	
	目的達成状況	内容	会員確保の目標が達成されていない	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	会員からは減額の要望がある

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	食生活健康推進員の定着率が低く、本会の規模拡大が見込めず、団体の活動範囲が広がらない	対応策	広報等で活動の内容を案内して食生活健康推進員の新規人員の養成を図る
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	食生活健康推進員養成教室の未開催年	変更・追加	食生活健康推進員養成教室の開催年
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 メタボリックシンドロームの解消・予防に栄養・食生活は大きく影響しており、健康づくりは市民にとって大変重要であるため、食生活健康推進員を養成することが今後も必要であり、またみよし市食生活健康推進委員会の活動を活性化させるためにも補助金の交付の継続は必要である。		
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	225	住民健康管理システム運営事業							
	この事務事業の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業		健康づくり							
	主管課名		健康推進課			課長名	二子石 勝					
	この事務事業の開始時期		平成13年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	出生から高齢期までの生涯を通じた健康情報を蓄積し、保健活動を効率的、効果的に推進する。					市民の健康診査、健康教育、健康相談及び予防接種の各種情報を蓄積し、健康状態及び健康度評価を行い、生活改善指導・介護・福祉の支援につなげる。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			健康診査・健康教育・健康相談・予防接種等のデータを入力し、入力したデータを分析に役立てる。接種券や受診券を発行する。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化していない				名称		単位					
					①	母子保健事業における入力・出力件数		件				
					②	成人保健事業における入力・出力件数		件				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					①	人口		人				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
市民の予防接種歴や健診結果等をデータ化することにより、市民の健康情報を一元管理し、保健指導に活用する					名称		単位					
					①	システムで管理している延べ人数		人				
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安心して医療を受けてもらう					名称		単位					
					①	データ入力件数		件				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 件			14,399	14,500	14,500	14,500	14,500			
		② 件			14,068	14,100	14,500	14,500	14,500			
(2)の 対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
		②										
(3)の 成果指標		① 人			109,227	113,003	116,500	120,000	123,500			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 件			50,958	51,100	51,500	51,500	51,500			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	04
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	12,863	10,515	10,262	10,262	10,262			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	1,863	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	0	0	11,000	10,515	10,262	10,262	10,262		
人件費 B		千円	0	0	2,788.8	2,956.8	2,956.8	2,956.8	2,956.8			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	830×1	880×1	880×1	880×1	880×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	305	305	305	305	305			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	15,956.8	13,776.8	13,523.8	13,523.8	13,523.8			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	225	住民健康管理システム運営事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	地域のニーズに合わせた保健事業を展開するために、健康管理システムを使用した統計分析を行うことができた	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	統計に活用でき、健診受診者の把握等もできるため、再検診が必要な方への支援等もできる		
		目的達成状況	内容	予定どおり実施できた		
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の直営で実施すべき事業		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業内容を鑑みると、統廃合による事業の効率化又は成果の向上は難しい。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	事務内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	市民の健康管理の一元化を図るにあたり、プライバシーの問題に十分注意する必要がある	対応策	個人毎に担当する業務と職責に応じたアクセス権限の設定及びアクセスログ収集機能の強化を実施
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	住民の健康データを管理・分析し適正な保健指導を行う	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 国の政策等、新たな健康づくりのための事業を実施することとなり、市民の健康情報等を管理するため、健康管理システムの改修が必要である。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			